

きょうから大学共通テスト

青森県内
4083人挑む

大学入学共通テストが18、19の2日間、全国一斉に行われる。青森県内では4083人が志願し、八戸学院大や八戸工業大など8会場で志望校合格へ向けた関門に挑む。

今回は、高校の新しい学習指導要領に対応した最初のテストで、従来の6教科

30科目から7教科21科目に再編。新教科「情報」の導入や試験時間の延長などの変更が加えられる。

日程は、両日とも午前9時半開始。初日は地理歴史・公民、国語、外国語、2日目は理科、数学、情報を行う。

テストを翌日に控えた17日、八戸学院大では担当者

が試験会場の最終確認を行った。同大入試課の村本景課長は「試験時間の延長など昨年とは違う点に気を付けたい。受験生には体調に注意し、普段の力を発揮してほしい」と話した。青森地方気象台によると、18日の県内は全域が曇りの予報となっている。

（上條哲洋）



大学入学共通テスト会場の看板を確認する担当者
=17日、八戸学院大